

徐勇展

THIS FACE

主催: BankART1929

協力: 劉博 海牛子。

2021.7.16fri-8.16mon BankART KAIKO

Xu Yong

徐勇展「THIS FACE」

2021年7月16日[金]～8月16日[月] 11:00～19:00

会場: BankART KAIKO(横浜市中区北仲通57-2 北仲BRICK&WHITE1F)

入場料: 700円(64頁小冊子付) 無料(障がい者手帳お持ちの方)

主催: BankART1929 協力: 劉樟 海牛子。

中国人芸術家、徐勇^{じょゆう}の展覧会を開催します。本展覧会は、写真集「THIS FACE」をベースに、彼のこれまでの活動を紹介します。この写真集は、2011年1月19日の1日に、実在の性工作者・紫Uの顔だけを連写した約500点で構成されている。無表情な素颜から化粧をした顔へと変化していきだけでなく、接客後の表情の変化、次第に感情がさらけ出されていくさまが生々しく迫る。この「徐勇+紫U」写真集は、香港で発行された。



徐勇(じょ・ゆう)/ Xu Yong

1954年上海生まれ。1965年に家族と共に北京に移住。1978年に河南科学技術大学を卒業。1984年～1988年北京広告公司にて写真家として勤務。1989年夏から1990年の春にかけて、北京特有の古い路地「胡同」を撮影し、1990年に『胡同101像』として刊行。この作品は日本では1994年に『胡同 北京の路地』として新潮社より出版、コニカギャラリーで作品展も開催された。(同書の文庫本サイズとして『胡同 北京下町の路地』が2003年に平凡社から出版されている。)これを機に、1993年には北京胡同文化遊覧活動を開始。そして、2003年中国現代美術の礎となる「再造798」活動を開始、798芸術区の創始者の一人として尽力する。その他の作品に、1992年中国の地方の人々の日常を撮影した『郷土中国』シリーズ(全4冊)、2014年には天安門事件を撮った写真集『底片(Negatives)』等、海外での展覧会も数多い。日本人との交流も多彩である。



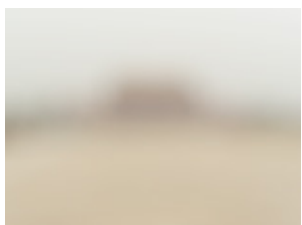
《草廠胡同》1989



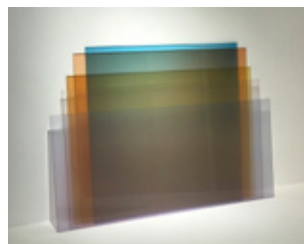
『胡同 北京の路地』(新潮社, 1994)



『小方家胡同』(中国摄影出版社, 2002)



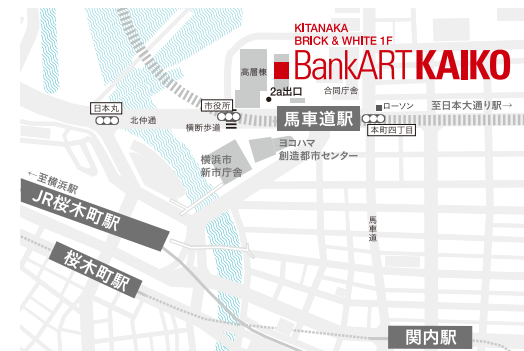
《天安門広場》2009



《透射与聚焦001》2016



北京798芸術区の創始者の一人である徐勇が立ち上げた「798時態空間」



お問合せ BankART1929 オフィス
info@bankart1929.com tel 045-663-2812

アクセス BankART KAIKO
横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F
tel 045-663-2813
みなとみらい線「馬車道」駅、2a出口のエスカレーターをあがって、右手手前の建物 KITANAKA BRICK & WHITE Northにお入りください。